

土づくりのため、麦わらは焼かずにすき込みましょう！

発行：香川県農業協同組合
監修：香 川 県

10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
排水対策 (ほ場の乾田化)				耕起・播種・排水溝の設置 (溝あげ)				麦踏み・土入れ				刈取り・乾燥調製					
雑草防除 (播種前)		種子 消毒		雑草防除 (初期)		追肥・土入れ		雑草防除 (中)		追肥・土入れ		アブラムシ 防除		赤かび病			
(浅耕)(溝あげ)(雑草)		(消毒)		(播種)		(雑草)		(排水)		(麦踏み)(追肥・土入れ)		(雑草)(追肥・土入れ)		(防除) (必須防除)		(刈取り)	
- 稲刈取後のツラを浅く(3〜5cm)鋤き込む。 - 排水溝を設置し、ほ場の過湿を防ぐ。 - 除草剤を散布する。 - 雑草の発生が多い場合は、排水溝を深くする。		- 伝染病対策として種子粉衣・種子更新を毎年行い、種子とす。下リル播 - 条間17〜20cm、播種深3cm		- 丁寧に散布する。 - また、かげムラの少ないよう、効果が低い。 - ら雑草発生前までの散布 - 初期除草剤は播種後か		- 随時、補修を行う。 - 連結する。生育期間中も排水溝と落水口を確実に		(麦踏み)(追肥・土入れ) - 麦踏みは節間伸長期前(二月中旬までに土が乾いた状態で行う。 - 中包までに土が乾いた状態で行う。		(雑草)(追肥・土入れ) - 除草剤は露がなくなつてから散布する。 - 抑草効果もある。 - 排水溝の補修を同時に行う。 - 追肥後土入れを行つと効果が高い。 - 月上旬〜月中旬にかけて追肥。		(防除) (必須防除) - アブラムシ類の発生初期に防除する。 - その7〜10日後に行う。 - 赤かび病の防除は、開花始めと		(刈取り) - 刈取適期は3〜4日間と短い - 広がりに出した頃。 - 下が適期である(穂の茎が横に30%以下になれば始め、25%以下コンバインの刈取は穀粒水分が - の種が混ざらないようにする。 - ラを抜き取り、異糧麦や草(カラスノエンドウやヤエムク - 刈取り前に必ず異糧麦や雑草		(乾燥) - 仕上り水分は12.5%とする。 - ける。 - 調製後は吸湿防止を特に心掛 - 乾燥後はなるべく早く調製し - 高温・急速乾燥は絶対しない。 - や品質が低下するため注意す - 収穫が遅れると収穫ロス増加 - め速やかに収穫する。	

排水溝の事例

(播種直後)
30~35cm
15~20cm

ロータリー幅

播種前の排水溝 落水口と排水溝の連結 設置作業

土入れ作業

刈取適期目安

播種時期	出穂後の目安	刈取適期の目安
11月中旬	50日前後(44日〜56日)	水分含量25%以下 (穀粒に爪の跡が残らなかった頃)
11月下旬	48日前後(43日〜53日)	

刈取適期の穂

種 名	ヤエムグラ	カラスノエンドウ	スズメノテッポウ	タデ	スズメノカタビラ	カスノコグサ	キツネノボタン
草 姿							
防 除 の ポイント	中期除草剤による 防除	収穫前に 必ず抜取	初期除草剤と中期 除草剤の体系防除	中期除草剤による 防除	中期除草剤による 防除	播種前と初期除草 剤の体系防除	中期除草剤による 防除

注2) ①②③) において記載している薬剤の使用基準は令和7年7月1日現在のものであり、今後変更になる場合があるため、使用する際は薬剤のラベルをよく読んでラベルの記載内容どおりに使用する。

適正な肥培管理で、タンパク質含有率の向上を図りましょう！